

研究 | IRレポート

Tokai University
Institutional Research
Report



科研費と東海大学の研究の親和性



宛先

東海大学URAオフィス
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
担当：山田実俊、荒砂茜
Email: ura-tokai@tokai.ac.jp

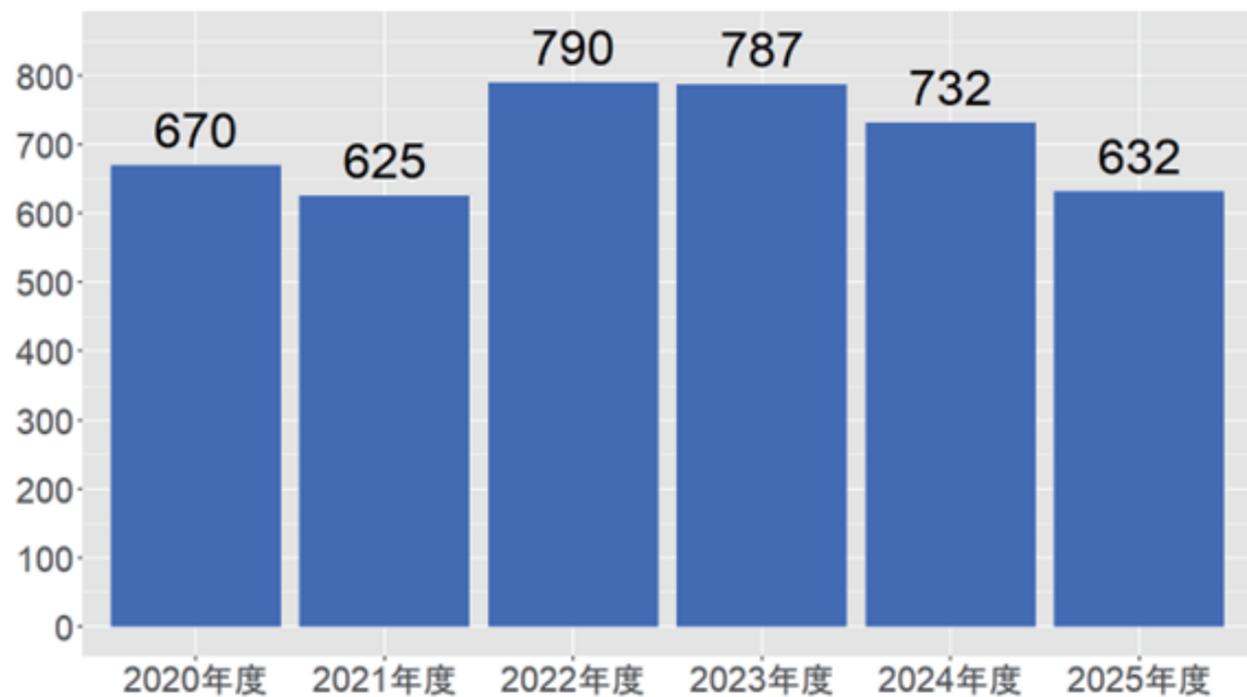
科研費と東海大学の研究の親和性

研究者が研究を続けるためには研究に対する資金を獲得する必要があります。日本学術振興会は研究活動に必要な資金を助成する制度の1つとして科学研究費助成事業(科研費)を所管しています。科研費は『人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うもの』です。その意味で、科研費は、科学技術振興機構が所管するCREST(チーム型研究)、さきがけ(個人型研究)や、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)などの国の戦略目標に沿ってテーマを設定されるトップダウン型と異なり、自由な発想に基づいて研究を提案できるボトムアップ型となっています。

東海大学は多くの学部学科を擁し研究のダイバーシティがあるため、政策・トレンドの影響を受けず研究者アイデンティティを保つことができるボトムアップ型の科研費と親和性があります。そこで本レポートでは東海大学の科研費の応募件数にフォーカスし、研究の促進やダイバーシティを発揮しているかを確認しました。

東海大学の科研費応募件数の推移

東海大学は毎年約600~800の科研費の応募をしています。2022年度に増加したあと減少傾向であり、2025年度は632件で2024年度から100件少なくなっていました。上記の通り、科研費と東海大学の研究には親和性があるため、東海大学の研究の拡大を促進するためには科研費の活用が有効であると考えられます。



東海大学の学部別科研費応募件数と教員数による応募率(2025年度)

学部名	応募件数	応募率	学部名	応募件数	応募率
医学部	327	69.1%	文化社会学部	10	21.7%
工学部	30	41.1%	建築都市学部	8	38.1%
文理融合学部	25	64.1%	政治経済学部	8	38.1%
海洋学部	24	53.3%	文学部	8	28.6%
情報理工学部	19	86.4%	国際学部	6	35.3%
農学部	17	73.9%	児童教育学部	6	33.3%
理学部	17	54.8%	法学部	6	27.3%
生物学部	14	66.7%	観光学部	4	26.7%
体育学部	14	29.8%	経営学部	4	30.8%
教養学部	12	42.9%	人文学部	4	30.8%
健康学部	12	66.7%	国際文化学部	3	13.6%
情報通信学部	12	66.7%	その他	42	28.2%

東海大学の2025年度の学部別科研費応募件数は医学部が327件で約半数を占めています。続けて工学部が30件、文理融合学部が25件、海洋学部が24件と理系分野の応募件数が多い傾向があります。しかし、各学部の継続科

研費を獲得している教員*を除いた教員数**(教授・准教授・講師・助教・助手の合計)を母数とした応募率では30%を超える文系分野の学部も多くあり、研究のダイバーシティを発揮できているといえます。

* 科研費データベースから抽出 **2025年度東海大学教員数より参照

2026年度科研費のスケジュール

研究種目	2025年				2026年					
	3月14日	6月17日	7月14日	9月17日	1月上旬	1月下旬	2月中旬	2月下旬	4月上旬	6月下旬
特別推進研究	公募開始	公募締切			審査結果通知				交付内定	
基盤研究(S)	公募開始	公募締切					審査結果通知		交付内定	
学術変革領域研究(A・B)	公募開始	公募締切					審査結果通知		交付内定	
学術変革領域研究(A)(公募研究)			公募開始	公募締切			審査結果通知		交付内定	
基盤研究(A・B・C)若手研究			公募開始	公募締切				審査結果通知	交付内定	
挑戦的研究(開拓・萌芽)			公募開始	公募締切						審査結果通知 交付内定
奨励研究			公募開始	公募締切		審査結果通知			交付内定	
研究成果公開促進費			公募開始	公募締切				審査結果通知	交付内定	
国際共同研究強化 帰国発展研究 (2025年度科研費)			公募開始	公募締切				審査結果通知 交付内定		

2026年度の科研費の公募開始日、公募締切日、審査結果通知日、交付内定日の予定が公開されています。学術変革領域研究(A)(公募研究)、基盤研究(A・B・C)、若手研究、挑戦的研究(開拓・萌芽)、奨励研究、研究成果公開促進費、国際共同研究強化、帰国発展研究については2025年7月14日から公募が開始されます。公募締め切りは9月17日とされていますが、学内の締め切りはカレッジ

ごとに定められているため、確認が必要となります。また国際先導研究は2026年1月頃、研究活動スタート支援は2026年3月頃に公募開始予定です。東海大学では研究計画調書の査読支援や、研究奨励補助計画などの科研費に申請する研究者への支援策を設けています。東海大学の研究力を高めるためにも積極的に科研費へ応募することが重要だと考えられます。